

人類学演習 II 談話会

日時：1月16日 16:30～18:00

場所：理学部2号館 402号室

< 演者 >

佐藤 正子 さん

(千葉大学大学院医学研究院 公衆衛生学)

< 講演テーマ >

東南アジア型卵形赤血球症と一卒業生の足跡

< 要旨 >

マラリアは現在、全人類の約半数が感染の危機にあり、30秒毎に一人の子どもの命を奪っている。人類進化の歴史においても、マラリアは大きな淘汰圧として存在し、鎌状赤血球貧血やG6PD欠損症などのマラリア抵抗性を示す遺伝的形質が選択されてきた。アジア太平洋地域に住む人類集団においても、東南アジア型卵形赤血球症 Southeast Asian ovalocytosis (SAO) と呼ばれる、赤血球が卵形を示すマラリア抵抗性の遺伝的形質が報告されてきた。このSAOについて、その分布や遺伝的背景、マラリア抵抗性などについて研究した結果を紹介する。

また、個人的ではあるが、博士課程でこの研究をした後に医学の勉強を志すようになった経緯やその後についても、少しでも後輩の今後の参考になればと思い、一卒業生の足跡を紹介する。

今後の予定

2月 5日 金原正明 先生

2月 6日 修士論文発表練習

担当：田口裕祐